

# 福島県育成りんどう 「福島GE24号」栽培の手引き



※「福島GE24号」は品種名で、令和8年度中に一般的な名称を付ける予定です。

令和8年3月  
福島県農業総合センター

# 福島県育成りんどう 「福島GE24号」栽培の手引き 目次

- 1 りんどう「福島GE24号」の品種特性……………1ページ
  - (1)形態的特徴
  - (2)開花期の目安
  - (3)収量
  - (4)栽培上の注意点
  
- 2 栽培に向けた準備……………3ページ
  - (1)りんどう栽培に適した環境
  - (2)必要な資材及び機械(例)
  - (3)栽培スケジュール
  
- 3 栽培のポイント……………4ページ
  - (1)苗の購入
  - (2)排水性の改良
  - (3)施肥
  - (4)定植
  - (5)ジベレリン処理
  - (6)支柱とフラワーネットの設置
  - (7)芽整理
  - (8)病害虫防除
  - (9)収穫
  - (10)出荷調整
  - (11)残茎整理
  - (12)株の保護
  - (13)追肥

この手引きに記載されている内容は福島県農業総合センターの調査結果を参考に記載しております。なお、今後の試験結果や生産者からの御意見を踏まえて改訂することがあります。

# 1 りんどう「福島GE24号」の品種特性

## (1) 形態的特徴

### ア 花の形状

花卉(花冠裂片)は濃桃色で、頂花咲き性は良好です。なお、斑点はありません。

ササリンドウ系※であるため、花びらは外側に開きます。

※りんどうは花びらが外側に開くササリンドウ系と花卉が展開しにくいエゾリンドウ系に大別されます。



写真1 「福島GE24号」の花の形状

### イ 草姿

ほ場における草丈は80cm~120cm程度で、茎数は20~40本程度発生します。花段数は5段程度です。

同じ個体を栄養繁殖で増殖した品種であるため、生育の揃いが良いです。



写真2 「福島GE24号」のほ場での生育状況



写真3 「福島GE24号」の切り花

## (2) 開花期の目安

只見町、南会津町においては、10月上中旬に開花期となり、「天の川」よりも遅い品種です(2024年)。また、郡山市(農業総合センター内)においては、9月中下旬に開花期となりました(2021年)。

場所	9月			10月		
	上	中	下	上	中	下
只見町 (2024年、 500m)			← 天の川 →	← 福島 GE24号 →		
南会津町 (2024年、 550m)	← 天の川 →			← 福島 GE24号 →		
郡山市 (2021年、 200m)		← 福島 GE24号 →				

図1 「福島GE24号」の開花期の目安

※ 定植3年目株、かっこ内は、開花年と標高

### (3)収量

定植3年目株では、1a当たり3～5千本程度の収量が見込めます。

表1 現地試験における定植3年目株の収量調査結果(2024年)

試験場所	品種名	出荷規格別割合(%)				1a当たり収量(本)
		80cm 5段以上	70cm 4段以上	60cm 3段以上	その他 規格	
只見町(塩ノ岐)	福島GE24号	16	26	35	23	3,160
	天の川	12	32	44	12	4,400
南会津町(長野)	福島GE24号	43	27	23	7	5,600

※1a当たりの収量(本)には、その他規格を含まない。

※南会津町の「天の川」のデータはなし。

### (4)栽培上の注意点

ア 茎が**やや細く曲がりやすい**ため、風当りの強いほ場では、防風ネットなどの対策を行いましょう。

イ 収穫時期が**稲刈りと重複**するため、導入に当たっては、労力の競合を考慮しましょう。

ウ 病害虫に対する抵抗性などは、付与していないため、**慣行の適期防除が必要**です。

#### Topics 福島県におけるりんどうの品種開発と「福島GE24号」の開発

福島県は、平成10年に「ふくしまかれん」(平成15年品種登録)を品種登録出願して以降、「ふくしまさやか」、「ふくしまみやび」、「ふくしましおん」、「ふくしまほのか」、「ふくしま凜夏」、「天の川」まで7品種を開発しました。「福島GE24号」は福島県が育成したりんどうとしては、8つ目の品種となります。

「福島GE24号」はササリンドウ系統の「F98158(1)-1」を母、ササリンドウ系統の「福島交20号」を父として2008年に交配し、育成した栄養系品種です。

2021年に「福島栄24号」を付与し、県内3市町村で現地試験を実施しました。品種登録では、「福島GE※24号」と名付け、2026年1月に出願しました。

※「GE」は、りんどうの英語表記が「Gentian」(ジエンジャン)であり、属名が *Gentiana* 属(ゲンチアナ)に分類されるため。

子房親(母)

F98158(1)

-1

花粉親(父)

福島交20号

個体  
選抜

培養適  
性検定

生産力  
検定

現地  
試験

福島  
GE24号

図 交配から品種登録出願までの流れ

## 2 栽培に向けた準備

### (1) りんどう栽培に適した環境

#### ア ほ場条件

りんどうは極端な乾燥と過湿を嫌います。かん水のための水源等を有したほ場を選定し、排水不良な湿田等には作付をしないようにしましょう。

また、りんどうは酸性土壌を好みます。定植前年までに深耕と有機物の施用等も組み入れて、土づくりを行いましょう。

#### イ 気候条件

りんどうは生育適温が20℃前後と冷涼な気候を好むことから、高冷地においては品質の高いりんどうの生産が期待できます。

「福島GE24号」は同じ栄養系品種の「天の川」と比較すると耐暑性がやや劣るため、県内平坦部で栽培すると鮮やかな濃桃色が発色しにくくなります。

平坦部で栽培する際には、遮光幕を設置するなど、高温対策が必要です。



写真4 遮光幕による高温対策

#### 【注意事項】

りんどうは連作を嫌うので、改植する際には同一のほ場を避ける必要があります。

### (2) 必要な資材及び機械(例)

#### ア 主な資材

資材	10a当たりの 使用量
η型支柱(高さ180cm×幅75cm)	900本
フラワーネット(15cm角×5目)	400m
グランドシート(75cm×100m)	1,000m
Uピン(30cm)	1,000本
支柱クロスバンド	1,000個
白黒ダブルマルチ (0.03×135×200m)	4本

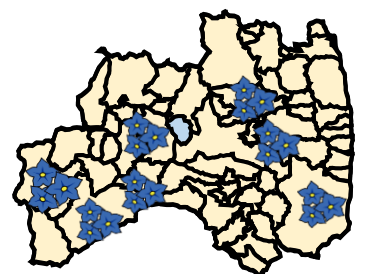
#### イ 機械

機械名
軽トラック
動力噴霧器
乗用トラクタ(ロータリ付)
管理機+成形機
ウ その他
資材
肥料(元肥、春肥等)
農薬
水揚げ用バケツ
出荷調製用のハサミ
出荷用段ボール 等

### Topics 福島県のりんどう生産

令和6年における福島県のりんどうの栽培面積は2,210aで岩手県、秋田県、山形県に次ぐ国内第4位となっています。(令和6年度農林水産省作物統計より)

県内では南会津地域で多く栽培されていますが、この他にも安達地域、田村地域、いわき地域等、県内各地にりんどうの産地が存在します。



### (3)栽培スケジュール

栽培スケジュールは下の表のとおりです。生産する地域によって作業スケジュールは若干異なります。

表2 「福島GE24号」の栽培スケジュール(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
定植前年						苗の注文		ほ場準備
定植1年目	ほ場準備	定植	栽培管理(除草・病虫害防除等)			残茎整理		株の保護
定植2年目		栽培管理(除草・病虫害防除等)				一部、収穫		株の保護
定植3~6年目		栽培管理(除草・病虫害防除等)				収穫 ※改植に向けた検討		株の保護

## 3 栽培のポイント

一般的な栽培管理は晩生りんどうに準じて行ってください。「福島GE24号」の栽培におけるポイントは以下のとおりです。

### (1)苗の購入

定植本数は600本/aが目安です。

### (2)排水性の改良

「福島GE24号」は水はけ良好な土壌条件を好むため、排水対策を徹底してください。

ア 明きよ(ほ場の周囲4辺に深さ30cm程度)を掘り、排水口へつなげます。

イ 弾丸暗きよの施工をおすすめします。明きよにつなげると、排水効果が高まります。



写真5 りんどうほ場に設置した明きよ

### (3)施肥

一般的なりんどうの施肥基準に準じて行ってください。

【基肥の施用例(10a当たり)】

基 肥	施用量(kg)	成分量(kg/10a)			備考
		N-P-K	Ca	Mg	
配合化成肥料	100	8-8-8			資材例:花き専用888
苦土重焼燐	20	7		1	
硫酸カルシウム	100		20		資材例:畑のカルシウム
硫酸マグネシウム	40			10	
合 計		8-15-8	20	11	

#### (4)定植

遅霜のおそれなくなった5月下旬～6月上旬に定植し、その後1か月間は乾燥に注意し、適宜かん水を行ってください。

組織培養で育苗した「福島GE24号」は、一般的な種子から育苗する品種と比べ、ややロゼット状の形態を呈しますが、生育に問題はありません。



写真6 「福島GE24号」の苗

#### (5)ジベレリン処理

生育促進のため、定植直前又は定植1～5週間後にジベレリン100ppm水溶液を苗に1回散布(噴霧)します。

#### (6)支柱とフラワーネットの設置

ア 高さ180cm以上×幅75cmの「 $\cap$ 型支柱」  
1.5m間隔で立てます。

イ 15cm角×5目のネットを2～3段、設置します。

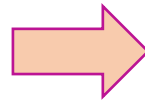
「福島GE24号」は茎がやや細いため、風当たりの強いほ場では、ネットの両脇をマイカ線などのハウスバンドで補強したり、防風ネットの設置等をおすすめします。

#### (7)芽整理

草丈20cm前後の時期に、細い茎や極端に太い茎を折り取り、太く生育が揃った茎を1株当たり10本程度残します。



芽整理前



芽整理後

写真7 芽整理例

#### (8)病害虫防除

「福島GE24号」は、病害虫抵抗性を特に付与していないため、他の品種同様、7～10日間隔で防除を行いましょう。

#### (9)収穫

頂花が色付いてきたら、ウイルス等の汁液伝染を避けるため、手で折り取り収穫します。草丈が120～130cmある場合は、地上部30cmを残して株のすべての茎を収穫することができます。(草丈110cm未満の場合は茎を1株当たり1～2本残して地際部から収穫します。)



写真8 出荷調製作業

#### (10)出荷調製

一般的なりんどうに準じた調製をします。

「福島GE24号」は花の中に水が入っている場合があるので、結束前に水気を取るようになしてください。

### (11)残茎整理

収穫終了後、ほ場にある残茎は地際10～15cmから上の残茎を折り取り、ほ場外に持ち出し、土中に埋める等の処分を行いましょう。

### (12)株の保護

幼株の凍み上がりや芽の乾燥を防ぐため、冬期間は株上に堆肥や稲わらの束で被覆しましょう。

稲わらの束は翌春の萌芽前に片づけます。

なお、積雪量が多い地域では当該作業は必要ありません。



写真9 株の保護

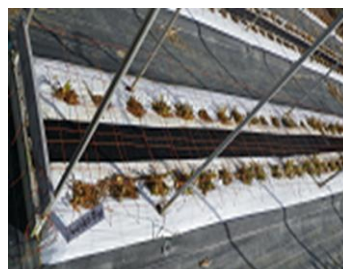
### (13)追肥

定植した翌年以降は、春肥を施用しましょう。「福島GE24号」は、側芽発生期にNPKを含む緩効性肥料をN成分で6～8kg/10a程度施用しましょう。

花肥は、出蕾期以降にNPKを含む即効性肥料をN成分で2kg/10a程度施用しましょう。礼肥は、必要ありません。



マルチに穴を開ける



穴に遮光資材または藁を敷く



上から肥料を施用する

写真10 追肥作業例



【編集・発行】福島県農業総合センター